



社協だより

97号

平成17年4月1日

発行
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2F
TEL 0940-37-1300

宗像市・大島村

社会福祉協議会が合併

誕生 大島支所

宗像市・大島村の合併により、平成17年3月31日、宗像市・大島村社会福祉協議会が合併しました。合併の方式は行政と同じく宗像市社会福祉協議会が大島村社会福祉協議会を編入する編入合併です。

両社会福祉協議会の合併は、平成16年8月31日に合意・調印された「合併契約書」に基づき進められてきました。

今後は、山大島村ふれ愛センターに宗像市社会福祉協議会の支所（大島支所）を設置し、大島地区のみなさんがメイトム宗像（宗像市久原）までご来館いただくことも、

社会福祉協議会が実施しているサービスの利用ならびに手続きができます。

大島支所で利用ならびに手続きができるサービスについては、次号で詳しく紹介いたします。

これからも合併前と同じように大島支所にお気軽にお立ち寄りください。



昨年8月31日の合併調印式で固い握手を交わす秋山晴子宗像市社会福祉協議会会長と安川至道大島村社会福祉協議会副会長

新時代の地域福祉の推進役II社協として

社会福祉協議会長 第2次地域福祉活動計画答申書受理



2月8日、第2次地域福祉活動計画書を石井武士計画策定委員長（福岡教育大学名誉教授）が社会福祉協議会長に答申しました。

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画とは、民間の社会福祉協議会が呼びかけて、市民・地域において社会福祉に関する活動を行う者・社会福祉を目的とする事

業（福祉サービス）を経営する者が、相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした、民間の活動・行動計画であり、行政が策定する「地域福祉計画」と連動する計画です。

福祉活動紹介 自由ヶ丘地区福祉会

いきいきふれあいサロンが始まります (機能訓練B型事業)

4月から

宗像市では、日の里地区・南郷地区・赤間西地区の各地区福祉会で、いきいきふれあいサロン（機能訓練B型事業）を開催しています。平成17年度から新しく自由ヶ丘地区福祉会も加わり市内4地区で開催されることになりました。

いきいきふれあいサロンは、心身の機能が低下している高齢者や家に閉じこもりがちで虚弱な高齢者を対象に、集会所や公民館などで血圧測定などの健康チェックをしたあと、楽しいレクリエーションなどで地域の人々との交流を図る集まりのことです。

自由ヶ丘地区ではすでに早くから地域の民生委員などが中心となってサロン活動が行われていたが、今後は、自由ヶ丘地区福祉会を中心としてより充実したサロン活動が期待されます。

自由ヶ丘第2区会のミニサロン

2月3日、第2区会では3回目となるミニサロンが自由ヶ丘地区コミュニティセンターで開催されました。

第2区会ではサロンの準備会を数回重ね、昨年ようやく立ち上がりました。サロンの開催にあたっては、自由ヶ丘地区福祉会の福祉委員が中心となって運営にあたっています。

今回のサロンには高齢者、ボランティアをあわせ約40人が参加しました。

この日は、地域ボランティア（福祉委員）による手づくりの昼食が準備され、和やかに食事を楽しんだ後は、会場を憩いの家に移しミニコンサートが開かれました。

今回の第2次計画は、第1次計画の見直しと、今日的・将来的な宗像市の地域福祉に対応するため、新たに計画したものです。

第2次計画は、平成17年度から平成21年度までの5カ年間の、本会活動の基本方針や実施方法を定めています。

4月から実施

今年1月27日に第1回を行い、以後10回の計画策定委員会を開催し、議論を重ねました。

第2次計画答申書は、3月29日の理事会・評議員会で承認され、4月から実施します。

なお、第2次計画の具体的な内容については、次号の社協だよりで紹介いたします。

チャリティーリサイクルマーケットは大盛況 益金は地域福祉推進に活用

2月27日、宗像市社会福祉協議会では、宗像ユリックスで行われた宗像市衛生組合連合会主催の第12回リサイクルマーケットで、チャリティーリサイクルマーケットを実施しました。

市民のみなさんのご協力により3万7500円の収益を得ることができました。

当日は、ご寄付いただいた品物が好評で、またチャリティーで行ったことなどにより午前中ではほぼ完売の大盛況でした。

当日同じ会場で行われた宗像市衛生組合連合会（会長中村若博さん）のチャリティー募金で集まった9100円も社会福祉協議会にご寄付いただきました。

今回の収益金ならびに募金は、社会福祉協議会が行う高齢者や障害者などの福祉事業やボランティア活動、福祉教育事業などの地域福祉事業に有効かつ有意義に活用させていただきます。

品物を寄付していただいたみなさん誠にありがとうございました。



いきいきふれあいサロンで健康チェックをする地域の高齢者

ピアノ・フルート・琴のすばらしい音色に参加者は、うっとりしていました。

ご協力ありがとうございました

障害者生活支援センターだより

☎(34)2411・ファックス(34)2412
土日曜日、祝祭日を除く午前8時30分～午後5時

障害者パソコンクラブ会員募集

「PCパンドラの会」に新しいコースができます

4月からは今まであったコースが中級コースとなり、新たに初級者コースを開設します。初級者コースでは、パソコンを初めてさわる人でも分かるような講習を行います。

普段の生活の中で、楽しくパソコンを利用するために、あなたもクラブに入りませんか。

障害のある人だけで構成するパソコンクラブが平成15年7月に結成されて、3年目を迎えます。講師の指導による基礎からのパソコン講習と、会員同士の交流を行っています。

パンドラの箱の底に「希望」が残っていたというギリシャ神話にちなんで名づけられた「P」

▼初級者コース 毎月2回 第1・3木曜日 午前10時～正午

▼中級者コース 毎月2回 第2・4木曜日 午前10時～正午

場 東海大学福岡短期大学3号館「メディアラボ」(宗像市田久1-119番1号) ☎331458

対 障害のある人

募 初級者コース 10人程度
中級者コース 5人程度

料 現在の会員は20人で、料年会費1000円・参加費1回400円

※テキスト代などがほかに必要です。

講 真崎雄雄(宗像市パソコン同好会講座担当)

内 ①講師指導のパソコン講習、練習、質問②会員同士の自主・相互学習、親睦交流

申 同センター



まずわたしたちにご相談ください

玄海地区のみなさまもわたしたちへ

障害に関する相談は同センターをご利用ください。同センターは、障害のある人やその家族の総合的な相談窓口です。同センターでは、福祉サービスの利用援助、自立や社会参加のための情報提供などを行っています。

また、玄海地区では、平成15年から月2回、ゆうゆうづらぎに相談窓口を開設してきましたが、4月からは同窓口をメイトム宗像2階

△宗像内の同センターに移し、これまでどおり相談に応じます。相談料は無料です。お気軽にご利用ください。

対 障害のある人やその家族

内 福祉サービスの利用相談・ピアカウンセリング(障害者同士の相談・生活情報の提供など)

場 同センター(宗像市久原メイトム宗像2階)

ボランティアセンター通信

〒374-1000 フラックス(37)4101
平日曜日、祝祭日を除く午前8時30分～午後5時

「ふくおかボランティアのつどい」に参加!

第19回「ふくおかボランティアのつどい」(福岡プロック)が2月6日(志免町にて)開かれ、宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会(藤井千賀子会長)所属の各グループから22人が参加しました。今



いろいろな方法のコミュニケーションを学びました

年は、「子どもと楽しくフェスタ」と統合して開催されました。今回のテーマは「つながれ! ひろがれ!! ボランティア子育てなかまのわす。」

地域住民によるボランティア活動の必要性が高まる今日です。今回のつどいでは、午前中「多様な地域資源を活かそう」と題した地域相互援助についての講演、午後からは各地で取り組まれている「まちづくり」や「ふれあい、いきいきサロン」などの事例発表を中心とした5つの分科会、また「布絵本づくり」や「手作りおもちゃ教室」といった体験コーナーでそれぞれ学習しました。

ボランティア講座受講 次は実践!

1月に「ヤングボランティアスクール(以下、ヤングボラ)」を、2月から3月にかけて「ボランティア入門講座」を開催しました。ここではヤングボラや入門講座に参加し、ボランティアの学習や体験、ボランティアを必要としている人々の実態にふれた参加者の体験や思いを紹介します。

ヤングボランティアスクール これからの「行動計画」を劇で発表!

1月22・23日の2日間、10人の青年が「共生」について学習し、それに基づき今後の行動計画を立てました。今回のヤングボラは、特に障害がある人との交流を通じ、



いっしょに作ったお菓子に舌鼓

参加したボランティアからは、「世代を越え、誰もが安心して暮らしていける『まちづくり』を住民自身が主体となつて築き上げなければならぬことを痛感しました」、「『まちづくり』の担い手である自分たちが、今後どのような取り組みでいけばいいのかを改めて考え、ボランティア活動の促進に努める必要がある」と、再認識したつどいでした。といった感想が届いています。

初日は、この講座の協力者である障害がある子どもたちや若者、ボランティア合計8人といっしょに行動しました。地元のリョウブセンターに於いて、買い物した材料でお菓子づくりを行い、交流を深めました。実際に生活を営む「地域」が、障害がある「ある」「なし」に関わらず、暮らしやすいまちづくりになっているかどうかを確かめた結果、「店内の陳列棚が高過ぎる」などといった今まで気づかなかった障壁がまだまだたくさんありました。

協力者から見聞きしたそれを、それが抱える問題点や希望、さらに現役ボランティアの関わり方を口頭でつたりにし、2日目は「地域社会」や「ボランティア活動」について、まず自分自身を見つめ直してみようとした。それを踏まえ、受講者全員で本音の議論。協力者の2人を助言者として招き、ヤングボラのまとめとして行動計画を自作白演の劇で発表しました。その内容は、「ユニニケーション」を軸に「子どもを主にした地域でのボランティア活動を展開してい

こう。そのために、まず自分たちがその必要性を伝える伝道者となる」といったものです。人と人との間には、もともと垣根はありません。いつの日か、みんなの心の壁が取れる「実践」です。

最終日、アイマスク体験を踏まえ、視覚に障害がある人が安心してサポートを受けられる「ガイド」のポイントを身に付けました。障害があっても、同じ仲間として活動でき、協力し合えることを理解し、支援の必要性および方法には個人差があることを再認識しました。

ボランティア入門講座 「ボラって、何だろう?」の疑問解決!

2月から3月にかけて10代から70代の市民23人が、平日コース(6日間)・日曜日コース(4日間)に分かれて、福祉分野の中でも関心の高いボランティア活動を学習しました。

基本を学んだ後は、体験学習です。「介護実習」は中間市にある「福岡県地域介護実習・普及センター」へおもむき、高齢者疑似体験などを通じ、今まで見過ごしていた障害への気づき、考えを実感しました。「朗読」にて独特の発声法と、広報紙を教材とした本番さながらの録音体験「手話」では聴覚に障害があ

募集

車イス移送車貸出中! 移送サービスをご利用ください

社会福祉協議会では、車イスに乗ったまま乗り降りできる車イス移送車を貸し出してあります。利用できる人は、市内住で歩行が困難なため外出の際に車イス等を使用している人です。利用の際には、原則として利用者が運転者を確保し、介助者が必要です。



車イス移送車

ただし、運転者の確保が難しい人は運転ボランティアグループ「たけこぶた」と調整することができます。社会参加(行事やレクリエーション)の参加、買い物などは週2回、通院に使われる場合は月2回の利用となります。

きちんと保険に加入して活動! ボランティア活動 保険更新・加入のお知らせ

ボランティア人口は年々増加し、さまざまな活動場でボランティアが活躍しています。さて、きちんと保険に加入して活動していますか?

ボランティア活動中に起こりうる「傷害事故」と、ボランティア対象者にケガを負わせてしまった、または物を壊した場合などの「賠償事故」を補償します。ボランティア活動保険は、ボランティア自身ケガをした場合の「傷害事故」と、ボランティア対象者にケガを負わせてしまった、または物を壊した場合などの「賠償事故」を補償します。

平成17年度 手話講習会 受講生大募集 社会福祉協議会が主催する初心者向けの手話講習会です。中央公民館と保健福祉会館「ゆうゆうふらぎ」の2会場でそれぞれ開講します。楽しく手話を覚えて、聴覚障害がある人とコミュニケーションの輪を広げてみませんか?

中央公民館 時 毎週土曜日午後1時～午後3時(初回は4月16日) 夜部 毎週火曜日午後7時～午後9時(初回は4月12日) 講師 手話サークル「シユワツチ」 年間500円。テキスト代は別途200円程度必要です。

寄付ありがとうございました

- 【香典返し】(敬称略)
 - (故)中澤義揮(和歌美会)
 - 南照人 (山田)
 - (故)占部ノブ (上八)
 - 大島千寿子 (上八)
 - (故)中村猪走 (野坂)
 - 海老原忠明 (曲)
 - (故)山崎馨 (須恵)
- (故)佐藤満里子(朝野)
- (故)室屋敏夫(稲元)
- (故)窪山磯喜(日の里)
- 岩佐剛(赤間)
- (故)渡邊順子(自由ヶ丘)
- 高崎洋(武丸)
- (故)佐藤照義(天平台)
- 井上喜美子(泉ヶ丘)
- 魚住洋子(鐘崎)
- 片山説三(曲)

宗像市社会福祉協議会

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎(37) 1300

玄海支所 宗像市神湊118番地4 ゆうゆうふらぎ内 ☎(34) 6008

大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれあいセンター内 ☎(72) 2294